

2021 年度 研究助成および海外派遣助成のご案内

2021 年度の研究助成および海外派遣助成を、下記応募要項により募集することになりましたので、ご案内申し上げます。

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

研究助成応募要項

1. 助成対象

医学の発展と人類の福祉に寄与すると期待されるもので、内視鏡にかかわる日本国内における研究（個人、グループのいずれでも可）に対し助成します。

2. 推薦者

応募の際は所属施設の長など次の学識経験者の推薦を必要とします（自薦は認めません）

総合大学は学部長、研究所は研究所長、単科大学は学長、または所属部門の教授。

大学以外の場合は所属施設の最高責任者、または所属部門長。

3. 応募方法

応募は1テーマ1葉とし、当財団ホームページでの応募登録及び当財団所定の2021年度研究助成応募用紙によります。（詳しくは応募要項をご参照ください）

4. 研究助成金 …………… 研究助成(A)1件当たり 100万円（2020年度実績 2件、2021年度予定 2件）
研究助成(B)1件当たり 50万円（2020年度実績 38件、2021年度予定 38件）

5. 応募締切日 …………… 2021年 **7月21日** [今年度より締切日を変更：当日消印あるものは有効]

6. 採否の通知 …………… 2021年12月中旬、応募者宛に通知

7. 助成金の交付 …… 2022年2月上旬予定

8. 選考方法

当財団の選考委員会で選考の上、理事会の承認により決定します。

9. 研究成果の報告

助成金を受けた場合は、本テーマの研究終了後、速やかに所定の研究成果報告書及び使途報告書を当財団宛に提出して下さい。

本研究の発表の場合には、“公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団の助成による” [英文の場合は、“J F E (The Japanese Foundation for Research and Promotion of Endoscopy) Grant”] と書き添えて下さい。

多施設共同研究助成応募要項

1. 助成対象

医学の発展と人類の福祉に寄与すると期待されるもので、内視鏡にかかわる日本国内における多施設共同研究に対し助成します。

2. 推薦者

応募の際は所属施設の長など次の学識経験者の推薦を必要とします（自薦は認めません）

総合大学は学部長、研究所は研究所長、単科大学は学長、または所属部門の教授。

大学以外の場合は所属施設の最高責任者、または所属部門長。

3. 応募方法

当財団所定の 2021 年度多施設共同研究助成応募用紙によります。

4. 研究助成金 …… 100 万円／年（最長 3 年まで）（2020 年度実績 2 件、2021 年度予定 2 件）

5. 応募締切日 …… 2021 年 **7 月 21 日** [今年度より締切日を変更：当日消印あるものは有効]

6. 採否の通知 …… 2021 年 12 月中旬、応募者宛に通知

7. 助成金の交付 …… 2022 年 2 月上旬予定

8. 選考方法

当財団の選考委員会で選考の上、理事会の承認により決定します。

1 年以上継続する研究については 1 年ごとに継続助成の諾否の審査を行います。

9. 研究成果の報告

助成金を受けた場合は、速やかに所定の研究成果（または経過）報告書

及び使途報告書を当財団宛に提出して下さい。

本研究の発表の場合には、“公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団 の助成による”

[英文の場合には、“J F E (The Japanese Foundation for Research and Promotion of Endoscopy) Grant”]と書き添えて下さい。

海外派遣助成応募要項

1. 助成対象

若手内視鏡医学研究医（原則として満45歳以下）を対象に、海外で行われる学会（原則として下記による）などで個人またはグループの研究成果を発表（ポスター発表を除く）する研究医に助成します。 ***WEB参加のみは助成の対象外とさせていただきます**

【対象学会】 ***日本開催の場合は、助成対象とはいたしません。**

AAGL：米国婦人科内視鏡学会（American Association of Gynecologic Laparoscopists）、APAGE：アジアオセアニア婦人科内視鏡学会（Asia-Pacific Association for Gynecologic Endoscopy）、ESHRE：欧州ヒト生殖学会（European Society of Human Reproduction and Embryology）、ESGE：欧州婦人科内視鏡学会（European Society for Gynaecological Endoscopy）、SEUD：子宮内膜症・子宮疾患学会（Society of Endometriosis and Uterine Disorders）

2. 推薦者

応募の際は次の推薦者を必要とします。総合大学の場合は医学研究科長・学部長、研究所は研究所長とし、単科大学の場合は学長とする。大学以外の場合は所属施設の最高責任者とする。（所属教室・科の教授・部長は推薦できません）

3. 応募方法

当財団所定の2021年度内視鏡医学研究医海外派遣助成申請書によります。

4. 派遣助成金

地域により10～30万円

5. 応募締切および採否通知

応募締切	採否通知
学会開催2ヶ月前	学会開催1ヶ月前

学会により採否通知時期が異なるため、応募締切、採否通知についてはお問合せ下さい。

採否の結果は応募者宛に通知します。

6. 選考方法

当財団の選考委員会にて審査選考し、理事長の承認により決定します。

7. 助成金の交付

2021年4月以降、出発時期に応じて指定口座に振込みます。

8. 成果報告

学会終了後、速やかに所定の成果報告書を当財団宛に提出して下さい。

【応募用紙の請求】

応募用紙はホームページよりダウンロード下さい。 URL <http://www.endo-jfe.or.jp>

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団 事務局

Tel&Fax : 03-3375-3531 E-mail : endo-jfe@endo-jfe.or.jp

*「2022年度海外研究医受け入れ助成」も募集しています。詳細はホームページをご覧ください。

2022 年度 海外短期留学助成のご案内

2022 年度の海外短期留学助成を、下記応募要項により募集することになりましたので、ご案内申し上げます。

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

海外短期留学助成応募要項

1. 助成対象

わが国の内視鏡医学の将来を担う国際的視野に富む研究医、臨床医を育成することを目的として、海外の大学等の研究期間に短期留学(2~3 ヶ月間)する若手医師 (2021 年度 4 月 1 日現在 満 45 歳以下) に対して助成します。

2. 推薦者

応募の際は次の推薦者を必要とします。

総合大学の場合は医学研究科長・学部長、学部長、研究所は研究所長、単科大学の場合は学長、大学以外の場合は所属施設の最高責任者とします。(所属教室・科の教授・部長は推薦できません)

3. 応募方法

当財団所定の 2022 年度海外短期留学助成応募用紙によります。

4. 助成金 …………… 50 万円 (2021 年度実績 3 件、2022 年度予定 4 件)

5. 留学期間 …………… 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの 2~3 ヶ月間

6. 応募締切日 …………… 2021 年 9 月 30 日 [当日消印あるものは有効]

7. 選考方法

当財団の選考委員会で選考の上、理事会の承認により決定します。

8. 採否の通知

2021 年 12 月中旬、応募者宛に通知

9. 助成金の交付

2022 年 4 月以降、出発時期に応じて助成決定者の指定口座に振込みます。

10. 研究成果の報告

留学期間終了後、速やかに所定の成果報告書を、当財団宛に提出して下さい。